

	論理国語	
--	------	--

教科	科目名	単位数	学年・コース	教科書名	副教材
国語	論理国語	3	2年 A進学 G一貫	論理国語 筑摩書房	『ちくま文学購読 上級編』（筑摩書房） ※3年次も使用 『入試漢字マスター1800＋四訂版』（河合出版） ※3年間継続使用

学習目標	・評論文の読解を通して、論理的に読解する姿勢を学ぶ。小説の読解を通して、豊かな感性を育み、言語感覚を磨く。 ・現代文の根幹にある「近代」を理解し、現代を見渡す視点を獲得する。 ・言葉の意味・働き・用法・表現技法をよく理解し、日本語の語彙を豊かにする。
学習の進め方	評論の読解を通じて、論理に基づいた批判的／分析的読解力の基礎を学ぶ。語の意味や文と文の関係、レトリックの役割等を意識し、テキストに書かれている内容に対して正確な理解に努める姿勢を大切にすること。
評価対象・方法	定期試験に加え、平素の授業で行われる小テスト・長期休業中の学習課題の提出状況等を加味し、総合的に評価する。
受講に向けての心構えと準備	学んだ知識をそれぞれ別個のものとしてしまうのではなく、相互につながりのあるものだということを意識することが大切。全ての受験科目の基礎となる教科であるということを念頭に置いて学習を進めてほしい。

	学習事項	学習内容	備考
一学期	①「桜が創った『日本』」佐藤俊樹 ②「物語るといふ欲望」内田 樹 ③ 小説『神様』川上弘美	・桜を通して日本人の伝統的な美意識について考える。 ・物語を「解釈する」ことについて、本文を論理的に読解することによって理解する。 ・人間と「くま」とのやり取りを通して、物語文の読解方法と「解釈する」ことを理解する。	第1回スタディサポート（4月）
	中間試験		
	④「ファッションの現象学」 ⑤ 小説『山月記』	・私たちの社会にとって「ファッション」とは何か。「現象学」をキーワードとして論理的に読解する。 ・人間が虎になるという虚構に注目して、この小説の主題について考察する。登場人物の心情を理解する。	
	期末試験		
二学期	⑥『近代の成立——遠近法』 ⑦「沖縄戦を聞く」	・遠近法による主体と客体の誕生と、近代の成立との関連性を理解し、近代についての考えを深める。 ・沖縄戦の語りを書き記し続けた筆者の文章を通して、「聞くこと」と「書くこと」について考える。	第2回スタディサポート（9月） 漢字コンクール①
	中間試験		
	⑧「男の絆、女たちの沈黙」 ⑨ 小説『こころ』夏目漱石	・文章を筋道立てて正確に読み解く。 ・近代の代表的な小説を読むことによって、近代という時代や、時代と人間との関係について理解を深める。	第1回進研模試（11月）
	期末試験		
三学期	⑩「現代日本の開化」夏目漱石 ⑪「異時代人の目」若桑みどり ⑫ 詩歌（韻文に親しむ）	・「こころ」と合わせて詠むことで理解を深める。 ・文章を筋道立てて正確に読み解く。 ・詩・短歌・俳句を読み、それぞれの形式や表現の特色を理解し、そこに描かれた世界を味わう。	第2回進研模試（1月） 漢字コンクール②
	学年末試験		

